

<白金標準先物、目先の調整を終えると 4000 円へ・・・>



(出所：オアシス)

中国人民銀行は、第4四半期のGDPが5%を下回った事を機に、中期貸出制度（MLF）金利2.85%へ2年ぶり引き下げ、ローンプライムレート1年、5年物引き下げも実施するなど国内景気刺激策を発表している。またイエレン財務長官は世界経済フォーラム「ダボス・アジェンダ」での講演で2022年に3.3%の経済成長率が見込まれていることは「経済および政策の驚くべき成果だ」と発言するなど米国経済への楽観的な見通しを示している。そのため米中二大経済大国が景気に対する支援や楽観的な見方を示しており、景気商品の白金標準先物は昨年11月以来の3838円まで高値を試している。

特に中国不動産大手恒大集団のデフォルト・リスクが26日以降には想定されるが、週末広東省政府は、恒大集団の海外資産と国内優良資産を分離し、国営企業に売却して得た資金で海外資産の支払いに充てる計画を提案しており、デフォルト・リスクが回避されると4000円へ向けた回帰相場を続けると予想される。

<テクニカル>

白金標準先物の日足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDとシグナルが上昇を維持しているが、RCIでは短期の上昇が止まりながら長期は高値を維持するなど目先の調整に備える動きには注意と思える。

<データ>

NYMEX 指定倉庫在庫（トロイオンス）：481950（前週比±0）

世界プラチナETF残高（トン）：66.05（前週比-0.18）

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 393,000 円(2022 年 1 月 24 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 33,000 円(2022 年 1 月 24 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>